

東播支部だより

新年のご挨拶



東播支部長
石田 真一

新年あけましておめでとうございませう。隊友会東播支部の皆様におかれましては清々しいお気持ちで令和7年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中の支部活動への積極的なご参加とご協力に心から御礼申し上げます。

昨年は、正月早々の能登半島地震の発生、ウクライナにおける戦闘の長期化、イスラエルとハマスや周辺国との争い、中国による台湾やフィリピンでの力による現状変更の動きのさらなる拡大そして年末になつてのシリアのアサド政権崩壊や韓国の戒厳令発動に伴う朝鮮半島情勢の突然の

第86号
発行所
公益社団法人
兵庫県隊友会
東播支部
0790-49-3027
発行責任者
桑原 博



混乱化、そして身近なところでは兵庫県齋藤知事をめぐる県政の混乱・停滞と国内外のみならず県内までが混沌とした1年で、今年もこれらの影響は続くものと思われませう。また、米国大統領にトランプ氏が再度選出されたことから国際社会の大幅な変化も予想される年となりました。

このような中であつて、支部の皆様におかれましては例年の活動に加え、能登災害派遣隊員の出発の見送り・激励を何回も行つていただいたり、自衛隊と隊友会が家族支援に関する協定を結ぶことをきっかけとした災害発生時の支部会員の安否確認の訓練を行つていただいたり、令和7年1月に実施される「中部方面隊災害対処実働訓練（南海レスキュー2024）」の準備会同への参加など活動の範囲を広げていただいております。お陰力に感謝申し上げます。昨年6月には

当支部が隊友会本部から表彰を受けることが出来ました。これは支部発足以来の先輩方のご努力の積み重ねと現在の会員の皆様の熱心・活発な活動の成果にほかなりませう。本当にありがとうございます。

前述しましたように混沌とした国内外の情勢や環境激変の中ですが、我々隊友会東播支部は今年も会員相互の親睦・連携の継続・拡充を第一としながら、部隊と現職隊員への協力・支援事業を充実させるよう諸活動の検討・改善を継続していきたくと考えています。特に兵庫県隊友会が家族支援に関して部隊との連携の実働訓練に参加することもあり、東播支部としても体制作りを推進してまいります。

本年も会員の皆様の積極的な支部活動へのご参加とご協力をお願いしますと共に、ご家族の皆様を含めました本年一年間のご健勝とご多幸を祈念しまして新年の挨拶と致します。

東播支部長 石田 真一



令和六年度鶉野平和 祈念祭に参加して

兵庫県隊友会東播支部 石田支部長は令和6年10月27日（日）13時から兵庫県加西市鶉野町にある姫路海軍航空隊鶉野飛行場跡地で開催された令和6年度鶉野平和祈年祭に参加した。

祈念祭は平成11年の「平和祈念の碑」建立で始まり、今

年で26回目を迎えこの地域に根付いた行事になっていきます。これまで長年にわたり鶴野平和祈念の碑苑保存会を中心として尽力してこられた上谷昭夫氏から昨年11月に代表理事を引き継がれた深田真史氏が、国を守るために志願され出撃していかれた当時の若者の心情を理解することの大切さと平和を守るための努力を実行してゆくことの大切さ、事業を引き継いでゆくことを主旨とする挨拶をされました。最初に、今回の祈念祭に展示されている新聞記事の一部を引用させて頂きます。

「先の大戦（大東亜戦争）の末期におよそ6千人もの特別攻撃隊員（特攻隊員）が日本を守るための出撃に参加されました。この出撃で亡くなられた御霊に心から頭を垂れたい。今年は第一陣である海軍の神風特別攻撃隊がフィリピン・レイテ島沖の米艦隊に突入してから80年を迎えます。特攻隊員を偲び、日本の独立と平和を維持する大切さを噛みしめたい。」

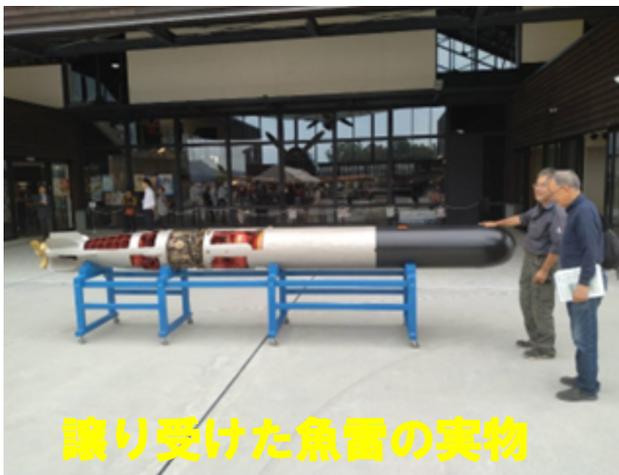


献花される石田支部長

すでに、大戦の体験者はほとんど生存されていないと聞いていますが、この祈念祭においては出撃された隊員の子孫にあたる方々の思いが語られたり、特攻に出発する前のご両親に宛てられた遺書の朗読を地域の高校生が行っておられ、いろいろな感情を参加者に伝えてくれます。我々は今日の平和が先の大戦の尊くも大きな犠牲の下にあることを肝に銘じつつ生きていくことと、戦争を起ささないという強い気持ちの後世に伝えていく義務があります。

また、今年は紫電改とともに展示してある九七式艦上攻撃機の装備品でもあった魚雷の実物を京都の南丹市から譲り受けて展示されていました。毎年、少しずつ増えていく展示品がある「ソラかさい」には、多くの見学者が訪れて紫電改の模型や防空壕、その他の資料館を含めて見学されています。滑走路の全容を残す戦争遺跡は日本でも貴重な資料であります。隊友会東播支部としても、しっかりと見守っていききたいと思えます。

事務局長 細貝 寛徳



譲り受けた魚雷の実物

令和6年度 隊友会
東播支部サツマ芋収穫祭

兵庫県隊友会東播支部は令和6年11月9日（土）10時から石田真一支部長以下会員26名・会員ご家族3名と現職隊員12世帯41名、合計70名によるサツマ芋収穫祭を加東市滝野の滝野体育センター前の休耕田において行いました。例年は10月中・下旬に行っておりましたが、今年は10月に方面隊が計画する北海道転地訓練に青野原駐屯地の隊員が参加しており、収穫祭を11月に延期して行いました。

毎年、近傍に居住されている主に石田支部長、池田副支部長、鈴木理事役が手を入れ、少しずつ休耕田の土が改良されてきました。今年は特に鹿が芋ツルを食べるので対策に苦慮しました。また雨が降らず数回水やりも行いました。近年の気象、鹿やイノシシが増え食害に対しての対策は非常に大切なものとなっています。

参加してくれた子供たちは表面に出たツルを引っ張って収穫した大きなサツマ芋に満面の笑



サツマ芋大きいな



お芋さんどこや

顔で楽しんでくれました。各世帯に30リットルの袋を渡し、それぞれ2/3以上のサツマ芋を入れて、袋が破けそうな状態を持ち帰って頂くことができました。また、石田支部長、鈴木理事役が作った里芋は気候のせいで大きく育たなかったのですが人気があり欲しい方に持って帰っていただきました。



お芋さん見つけた

毎年、参加して頂いた現職隊員の世帯の皆様にも、隊友会と連携できる唯一の行事であり、これからも積極的に交流して頂き、隊友会という組織を理解して頂けるようお願いをして解散となりました。

今年度は兵庫県隊友会も支援協定を結び、今後は災害発生の際に家族支援業務の支援が始まります。今回の様に東播支部が現職隊員家族と交流行事を行うことにより、相互の信頼関係の下、更に円滑に業務遂行がより円滑になるのでもと考えていますのでよろしくお願いたします。

事務局長 細貝 寛徳



「参加者による集合写真」



今年のお芋も最高です。

支部長挨拶



令和6年度支部忘年会

隊友会東播支部 支部長 石田真一以下20名は、令和6年11月16日(土) 16時30分から兵庫県加古川市平岡町新在家にある寿司店「辨慶」において、毎年恒例のこの時期に忘年会(団結会)を開催した。

会の冒頭に支部長の挨拶として、正月に起こった能登半島地震による災害派遣隊員の激励・見送りから始まり、5月のサツマ芋植付、7月の慰霊行事・慰霊碑清掃、11月のサツマ芋収穫祭等1年を通じて会員の皆様のご尽力に対し、心からお礼を述べられました。

参加者による集合写真



歓談する参加者の面々



また、この忘年会の後には歴史ウォーク、小野ハーフマラソン等の行事が残っており、最後のひと踏ん張りとしての隊友会会員各位のご協力を依頼するお言葉を述べられ、乾杯の発声で始まりました。参加された皆さんは豪華な刺身、ふぐ刺し、ふぐちり、カキフライ、寿司などに舌鼓し、お腹一杯となり大満足されていました。今年度の支部参加者には、80歳を超えた現役バリバリの理事役が3名参加しており、参加会員と元気がいっぱいのお話を伺い、支部が大事にしている「和」を基調とした有意義な団結会となりました。また、今年入会された神寄会員も参加され、会の中盤には一言挨拶を頂き、しっかりと東播支部の仲間の輪に加わって頂くことができました。

事務局長 細貝 寛徳

激励品の贈呈

12月6日から12月10日までの間、青野原駐屯地において実施された令和6年度第1回予備自衛官招集訓練において、訓練参加中の原田理事役が、隊友会東播支部を代表して訓練担当部隊及び訓練参加者に対し「激励品」を贈呈しました。

激励品



支部の活動実績

- 10月27日 鶴野平和祈念祭
支部長・事務局長参加
- 11月9日 収穫祭(サツマイモ)
石田支部長以下会員26名・会員家族3名・現職隊員12世帯41名
- 11月16日 忘年会(加古川弁慶)
支部長以下20名参加
- 11月23日 東播支部理事役会
支部長以下23名参加
- 11月30日 歴史ウォーク
(加西市研修)
支部長以下23名参加
- 12月6日~10日 #1予備自衛官招集訓練激励品
(訓練参加者への激励品を原田理事役に預託)
- 12月8日 小野ハーフマラソン支援
支部長以下17名参加
- 12月10日 県理事役会
支部不参加
- 12月11日 家族支援説明会
(南海レスキュー訓練)
支部長以下2名参加
- 12月21日 駐屯地年末行事
支部長参加

支部の活動予定

- 1月15日 南海レスキューにおける家族説明会(青野原駐屯地)
- 1月21日 新春互礼会
招集訓練激励品
- 1月17日~21日 #2予備自衛官
- 1月25日 東播支部理事役会
- 3月下旬 東播支部理事役会

【受章】

- 受章おめでとうございます
- 第42回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章
- 曾我部 和浩 (小野市)
- 第43回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章
- 松岡 通之 (小野市)
- 池田 裕亮 (小野市)

【新入会員紹介】

- 池嶋 徹 (加古郡) えびの駐業 令和6年1月31日退官
- 上水樽 学 (加古川市) 第43普連 昭和47年4月退官
- 神崎 忍 (加古川市) 中万隆部 令和6年4月12日退官

明けましておめでとうございます。本年もよろしく願っています。令和7年も支部会員一丸となり、活発な支部活動を行い、東播支部の更なる飛躍を遂げましょう。